

CIOのビジネス優先事項

デジタルの収益ミックス

#1 収益と利益率の成長を加速

#2 サステナビリティの改善

#3 ビジネス俊敏性の向上とデジタル
ビジネスのイノベーション

*デジタル関連の製品、サービス、カスタマーエクスペリエンス

財務的な成長、デジタルイノベーション、ビジネスの俊敏性が、2023年の主なビジネス課題です。サステナビリティは、社会的責任や規制コンプライアンスを上回り、明白なビジネス成果を追求する上でのビジネス優先事項のトップ3に含まれるようになりました。2022年のようなインフレの猛威が去った現在、コストの最適化と業務効率は、もはやトップ3のビジネス優先事項ではなくなっています。しかし、経営幹部は引き続きこれらを非常に重視しています。



84%

デジタルビジネスの目標を達成する上で、デジタルインフラストラクチャは「ミッションクリティカル」または「重要」と回答したCIOの割合

デジタルインフラストラクチャの即応能力

非常によく／十分に準備ができている

まったく準備ができていない

38%

58%

4%

ある程度／かろうじて準備ができている

2023年におけるCIOのテクノロジー課題



#1 ハイブリッドクラウド管理プラットフォームを実装し、さまざまなクラウドを横断する形でデータとアプリケーションのモビリティを実現



#2 レガシーのサーバーおよびストレージシステムを最新化し、ソフトウェアで動作するデジタルインフラストラクチャを導入



#3 デジタルビジネスを加速させるため、ITスキルの不足を解決

Smarter Data Management Playbook 2023

データ駆動型のイノベーションは、デジタルビジネスの成功をもたらす万能薬であるにもかかわらず、これを戦略的に推進しているアジア太平洋地域の企業は、わずか19%にすぎません。持続可能なビジネスと競争優位性の確立を目指す企業は、情報インフラストラクチャの最新化と変革により、データのアクセスと品質、データの解析、データの保護とサイバー回復力を巡る重要課題に対処する必要があります。



#1 パートナーおよびサプライヤーとのコラボレーションの促進



#2 優れたエクスペリエンスによる顧客価値



#3 業務モデルの変革

戦略的

その他

17%

19%

64%

かなり戦略的

データイノベーションへの投資

ハイブリッド／マルチクラウドに対応するデータ管理プラットフォームは、アジア太平洋地域の企業が膨大なデータスプロールおよびデータサイロという課題に対処し、データイノベーション戦略を推進するための基盤です。ビジネスの俊敏性と回復力へのニーズを満たす、ソフトウェア定義ストレージ技術、プラットフォーム、ソリューションの活用が検討されています

テクノロジー投資：データストレージ／管理



#2 レガシーのサーバーおよびストレージシステムを最新化し、ソフトウェアで動作するデジタルインフラストラクチャを導入



#1 ハイブリッド／マルチクラウドに対応するデータ管理プラットフォーム



#3 ソフトウェア定義ストレージソリューション

2023年、サステナビリティが焦点に



いいえ

7%

93%

はい

2023年、サステナビリティはアジア太平洋地域の企業にとって、単なる社会的なブランディング活動を超えたものとなっています。コストの最適化と業務効率が主なビジネス課題であることから、リソース利用の改善が第1位の要因です

サステナビリティを促進する要因

#1 リソース利用の改善

#2 規制およびコンプライアンス要件

#3 投資および投資家の誘致



アジア太平洋地域のCIOにとって、デジタルビジネスの必要性とともに急激に増加するデータは、サステナビリティ関連の重大な課題を投げかけており、情報インフラストラクチャの物理的フットプリントの縮小に貢献する、よりスマートなデータ管理ソリューションへの投資が活発化しています

インフラ／データへの投資によるサステナビリティの確保

#1 AI/MLベースの管理、プロビジョニング、オーケストレーションソフトウェアによるストレージ容量の利用率向上

#2 インライン圧縮および重複排除テクノロジーによるストレージ所要量の削減

#3 部門およびワークグループ用のストレージをプライベートクラウドで統合